

萬歳山は観ている

丹波市立 遠阪小学校

10月のオープンスクール 人を大切にすることを学ぶ

本の好きな子どもを育てる

本校では、本年度、「本だいすきっ子大作戦」と題して、本に対する興味・関心や読書に対する意欲を高め、本が好きな子どもを育てる様々な取組を、年間を通じて行っています。



▲絵本の内容をおさらいする「謎の講師」と本校児童

図書室はもちろん、いつでも本を手にとることができるよう、各学級やランチルームにも本を置いてあります。また、図書委員会が中心となって、「おすすめの本」を紹介するコーナーを設け、読書の楽しさを啓発する取組を進めています。

進めています。

公立図書館とも連携し、団体貸出し制度を活用して、学校にはない本を貸し出してもらったり、公立図書館ボランティアに本校にきて、ブックトークやストーリーテリングも実施したりしています。

今月は、兵庫県立図書館から講師を招き、大型方言講談絵本「カンベッチョナイ」ものがたり」を鑑賞しました。

この作品は、黒田官兵衛をモデルにした「クロダ・カンベッチョナイ」を主人公とした、「謎の講師・ビブリオ堂ちんげん」と川東丈純さん(兵庫県立図書館職員)の創作絵本。黒田官兵衛や豊臣秀吉などの活躍する時代が、方言色豊かな語りとユニークなキャラクターが登場する大型絵本を使っているいきいきと描かれ、児童も夢中になっていました。

ホームページを新設

遠阪小学校のホームページを新しく開設しました。今回のリニューアルは丹波市立小・中学校のホームページを、市のホームページに統合することに伴って行いました。これまでのホームページからでも新しいページへジャンプできるようになっていますので、一度のぞいて見てく

ださい。

ホームページアドレスは、
<https://www.city.tamba.hyogo.jp/site/toozaka/>

10月16日(木)、オープンスクールを実施しました。今回は、人権教育の一端をご覧くださいました。

本校では、人権尊重の精神を育て、好ましい人間関係を築き、自主的実践的な生活態度を養うことをねらいとして、道徳をはじめあらゆる機会をとらえて、取組を進めています。



▲「違い」についてペアトークする5・6年生

道徳の時間には、文部科学省から配布される「私たちの道徳」や兵庫県道徳副読本の資料を中心に、また、日常の学校生活で起こる問題について、必要に応じて指導をしています。

一度、道徳の時間に学習したからと言って、それが必ずしも身につくとは限りません。下に掲載している目標が達成できるよう、児童の発達段階に応じて、計画的に取り組んでいきます。

11月行事予定

- 3日(月) 文化の日 はだか祭り
- 4日(火) 登校指導 表現活動
- 5日(水) 愛校デー
- 6日(木) 全校体育(→音楽会練習) PTA役員会
- 7日(金) A L T来校(5・6年) こども園との交流会(1・2年)
- 10日(月) 地区児童会
- 11日(火) 表現活動
- 12日(水) 愛校デー P T A下校見守り隊
- 13日(木) 全校体育(→音楽会練習)
- 15日(土) 輝く遠阪っ子発表会 ※お弁当日
ふるさと音楽広場 ストーブ出し
- 17日(月) 振替休業日
- 18日(火) 登校指導 児童集会
- 19日(水) 3年 盲導犬のおはなし(佐治小)
- 20日(木) 全校体育(マラソン)
- 21日(金) 丹波市連合音楽会(5・6年)
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 校長講話
- 26日(水) 避難訓練 愛校デー
- 27日(木) 全校体育(マラソン)
- 28日(金) A L T来校(1・2・5・6年) ふれあい相談日

各学年の目標

- 1年 人の話が聞けたり自分の思いが言えたりする。
- 2年 相手の気持ちがわかり、みんなと仲良くする。
- 3年 友達の悩みや願いに気づき、みんなで解決していこうとする。
- 4年 身のまわりの差別や偏見に気づき、憤りをもって解決しようとする。自分も人も同じかけがえない大切な存在であることをわかって行動する。
- 5年 ぐらしや社会の中にある不合理や矛盾を的確にとらえ、差別をなくしていこうとする。
- 6年 部落差別をはじめ、あらゆる差別の問題を正しく認識し、その解決に向けて意欲的に取り組もうとする。



▲横綱白鵬の土俵入り その迫力に圧倒される子どもたち

力士の大きさに驚嘆
10月20日(月)、大相撲丹波場所実行委員会のご厚意で、本校児童全員、大相撲を見学することができました。

写真をお寄せください
平成29年4月に青垣小学校が開校し、遠阪小学校は創立以来143年の歴史に幕を下ろすことになりました。

これに向けて、遠阪自治協議会を中心に「遠阪小学校閉校記念事業検討委員会」が設置され、現在、記念誌の発行について協議、準備が進められています。単なる記録としてではなく、それぞれの世代の学校生活や当時の遠阪地域のくらしぶりを偲ぶことができる記念誌になる予定です。